

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月29日

協議会名:南城市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)鏡原第一交通	市内区域運行(ドアtoドア)によるデマンド交通。	令和元年10月1日に地域公共交通再編が実施され、支線バスが運行開始されたことによりデマンド交通の役割はバス路線を補完するものとなり、その役割分担についてあらためて確認することができた。	A 南城市生活交通確保維持改善計画のとおり事業は適切に実施された。	A ○登録者数 目標:5,640人 実績:6,759人 ○1日当たり利用者数 目標:58.0人/日 実績:47.0人/日 ○1便当たり利用者数 目標:1.9人/便 実績:1.9人/便 ○市民(成人)一人当たり に換算した負担額 目標:40円/月 実績:40円/月	再編後にデマンド交通の位置づけが支線バスを補完するものとなったことで、想定される利用者は支線バスのバス停が無い地域に行き来する自家用車を持たない(持てない)方々と考えられる。このような方々でまだデマンド交通を利用していない方々へしっかり情報を届けていけるように努めていきたい。